

Schedule

入退場自由

		11:00	12:00	13:00	14:00
オリエンテーション					
オープンキャンパスのオリエンテーション	本日はようこそ“横浜商科大学オープンキャンパス”にお越しくださいました。オープンキャンパスの内容や今日一日の有効な過ごし方などをお伝えします。 まずはここからスタート!			10:45~14:30	
ガイダンス					
保護者向けガイダンス	本学の入学前教育や奨学金、修学時のきめ細かな学生支援、就職実績、など、保護者の方が知りたい情報をお話します。	11:10~11:40		12:30~13:00	13:50~14:20
学部・学科説明	横浜商科大学での“学び”をご案内するとともに、少人数教育を謳っている本学の取り組みをご紹介します。		11:50~12:20	13:10~13:40	14:30~15:00
入試情報	2013年度入試から導入された2種類のAO入試の概要を中心に、各入試の試験対策などを説明します。	11:10~11:40		12:30~13:00	13:50~14:20
就職情報	本学の就職支援、就職率や就職先を紹介するとともに、“就活”に成功した4年生がその秘訣をこっそりお教えします。		11:50~12:20	13:10~13:40	14:30~15:00
資格取得情報	こんな資格を取りたいのだけど……、将来あんな職業に就きたいのだけど……、どんな資格があると有利なの？ そんな皆さんの疑問にお答えします。	11:10~11:40		12:30~13:00	13:50~14:20
体験イベント		11:00	12:00	13:00	14:00
商学科 模擬講義	大学の授業ってどんな様子だろう？ 一番簡単な方法は、その授業を受けること。 “百聞は一見にしかず” そこから少しずつ将来が見えてくるかもしれません。 (模擬講義の概要は別紙を参照してください)	11:15~12:00		13:15~14:00	
貿易・観光学科 模擬講義			12:15~13:00		14:15~15:00
経営情報学科 模擬講義		11:15~12:00		13:15~14:00	
キャンパスツアー	小さいキャンパスだけど、見所は盛りだくさん。商大生と一緒に見学し、アットホームな雰囲気を味わってください。		11:50~12:20	13:10~13:40	14:30~15:00
模擬面接	AO・推薦入試を“突破”するには、面接をクリアしないと……実際に、面接を体験し、先生からアドバイスをもらおう！			12:00~15:00 (受付は14:30まで)	
学食体験	商大名物“から揚げプレート”を無料で召し上がれます。商大の“味”をご賞味あれ！ 冷たいデザートもどうぞ!!			11:30~15:00	
個別相談	学生生活のこと、奨学金のこと、もちろん入試のこと。何でもお尋ねください！ 入試問題以外なら何でもお答えします。			11:30~15:00	
資料配布コーナー	入試要項・大学案内をはじめ、公募推薦の論述や基礎学力テストの過去問題、さらに大学の取り組みなどが掲載されている学報も無料で配布しています。			11:00~15:00	

商 学 科 模 擬 講 義

担当教員紹介

- 氏 名 : 飯島 千秋(教授)
- 担当科目 : 日本経済史、日本商業史
- 来場者へコメント : 「学ぶ」意欲のある学生諸君とお会いできることを楽しみにしています。
- タイトル : **歴史に学ぶ企業経営とビジネス意識**
- 講義の概要 : 江戸時代でもっとも成功した商人の一人といわれる豪商三井を素材として、江戸期商人の商業意識を探ることが本講義の目的である。三井は、住友や鴻池と並んで、三大豪富と称されたが、事業成功の裏には「三井の新商法」といわれる新経営戦略の展開があった。その内容は多岐にわたるが、中心はお客第一の徹底したサービスの実施にあった。さらに、三井をはじめとして、当時の商人たちは、信用や信義を重んじ、知恵や才覚を尊び、始末・算用を実践したのであった。元禄時代の大阪の文人井原西鶴は、その著書『日本永代蔵』の中で、「長者丸」という「金持ちになれる薬」の調合法を紹介している。講義では、皆さんにもこの薬の作り方を伝授したい。

貿 易 ・ 観 光 学 科 模 擬 講 義

担当教員紹介

- 氏 名 : 可児 滋 (教授)
- 担当科目 : 金融論、証券市場論、国際金融論、現代ファイナンス論
- 来場者へコメント : 当大学の特徴は、少人数精鋭主義です。オープンキャンパスでこの特徴をじっくり味わってください。

講義内容の紹介

- タイトル : **今回の東日本大震災の復興に金融業界、証券業界はいかに貢献できるか?**
- 講義の概要 : 今回の東日本大震災では、個人の日常生活や企業のビジネスが未曾有の危機に晒されることとなりました。
こうしたなかで、金融業界、証券業界は、どのような貢献ができるのでしょうか。また、今後、このような危機が再発した場合の備えとしてのツールを金融業界、証券業界は提供できるのでしょうか。
大変、難しい問題ですが、いま日本が抱える最大の課題を皆様と一緒に考えてみたいと思います。

